

## 北神けいろうの国政報告：11月号

いつも大変お世話になっております。

国会が対テロ対策などで緊迫しています。こうした中で、自民党側や評論家から、「民主党は対案を出すべきだ」といわれます。

これは一見もっともらしい主張です。ただ反対するのではなく、民主党の考え方を示すことはもちろん大事なことです。

ところが、一口に「対案」と言っても、基本的な方針を示すことから、具体的な法案を出すまで、色々な形があります。皆様には是非ともご理解いただきたいのは、野党の本来の仕事からいえば、法案を出す責任はないということです。

### 「野党」と「与党」との違いは？

野党というのは、選挙の結果、国民の皆様の多数の支持を得ていません。ですから、政権の外にあり、行政を指揮する権限も責任も与えられていないのです。

他方、与党は、国会でも多数を占め、総理大臣をはじめ内閣をつくります。内閣が、国政の方針を示し、官僚機構を指揮して、国家予算や法案を提出する権限と責任を与えられているわけであり、あります。

### 実は民主党 vs 自公 + 官僚？

野党の役割とは、内閣の方針や法案に対して、国民の立場に立って、疑問をぶつけることによって、暴走を許さないことです。法案をつくることは、本来の役割でもないし、現実に限界があります。

それは決して能力の問題ではありません。与えられた権限の問題です。私は大蔵省の役人をやっていたから、よく分かっているつもりです。役所は、与党に対しては、詳細な情報を与えるとともに、それこそ野党やメディアからの質問に対する反論も、事細かに教えます。

他方、野党に対しては、情報を洩ります。当然です。制度上、役人の上司は与党の大臣であり、野党の議員に仕えているわけではありませんから。

こうした中で、現実的に実行できる法案を野党が作成することには、自ずと限界があります。どこの先進国でも、法案という形で対案を示す野党など聞いたことがありません。まして、与党の議員が、野党に対して「法案を出せ」というのは、ほとんど与党議員の責任を放棄しているようなものです。

### 「政権交代」実現のために！！

与党と野党がそれぞれの与えられた役割を果たして、それに応じて、国民の判断を選挙で仰ぐのが、議会制民主主義のルールです。野党に法案作成能力があるかどうかは、本質的な問題ではありません。そのような能力は、政権をとって官僚を部下にすれば、自ずと身につくことです。むしろ、与党が国民に対する責任を果たしていないことが、野党の追及によって明らかになった時こそが、政権交代が起きる王道であります。

### 「北神けいろう」からポスター掲示のお願い！！

新しい政治活動用ポスターができました。自宅や店舗の外壁、フェンスなどへ、ポスターのご掲示の御協力をお願いいたします。

ポスターをご掲示していただける場合は、ぜひ 事務所までご連絡下さい。( Tel 075-315-3487 )